

快挙達成、喜びに沸く

福島選手 3大会連続五輪へ

両親「ようやく安心」

幕別町長らテレビ観戦

五輪出場おめでとう。陸上競技の日本選手権大会女子1000mで7連覇を達成、3大会連続の五輪出場を決めた、幕別町出身の福島千里選手(27)＝北海道ハイテクAC＝帯広南商業高、糠内中、糠内小出。競技会場となった名古屋市のパロマ瑞穂スタジアムで観戦した父輝幸さん(63)、母玲子さん(57)は「安心しました」と優勝を決めた娘の雄姿にホッとしたり表情。地元幕別町では、飯田晴義町長らがテレビ観戦で熱い声援を送り、快挙達成の喜びに沸いた。



優勝で笑顔で喜びを表現する福島選手(大賀章好撮影)

(松村智裕、眞尾敦)



福島千里選手の応援に駆け付けた、右から父輝幸さんと母玲子さん(大賀章好撮影)

話題控ええ気遣いスタンドで祈る輝幸さん、玲子さん

農業を営む父輝幸さんと母玲子さんは、友人ら5人と24日の女子1000m予選から観戦。連日降り続く雨の中、アクシデントなどが起きないか心配しながら見守った。

4月末、福島選手が練習拠点とする恵庭市に出向いて食事した以降は直接会っていない。玲子さんは、福島選手が欧州の転戦から帰国した16日に電話で話したが、「日本選手権については互いに何も言いませんでした」。たわいない会話を交わし、陸上の話題を控えて娘を気遣った。

25日午後8時20分に始まった女子1000m決勝。スタンドが異様な緊張感に包

まれる中、福島選手は序盤からリードを奪う。祈るように見つめる両親の前で快挙を達成した。

輝幸さんは「今季は大会を途中棄権するなど最後まで走れないことが多かった。決勝を走り終えて、これでようやく安心しました」と胸をなで下ろし、「おめでとうと言っておきたい。娘と相談して、リオデジャネイロへ行くかどうか決めます」とうれしそうに話した。

「町出身の3人そろって出場を」飯田町長

【幕別】福島選手の地元



福島選手の五輪出場決定を喜ぶ飯田町長(前列左から3人目)、田村教育長(同4人目)ら(25日午後8時20分すぎ、塩原真撮影)

幕別町では25日、忠類テニスパイクの山本幸平選手に続く2人目の五輪出場決定で、飯田町長は「(女性7人制ラグビーの桑井亜乃選手も含め)ぜひ3人そろって出場を」と期待を寄せた。(眞尾敦)

飯田町長は「けがが心配されたが、一生懸命走ってくれてほっとした。ぜひ体調を整え、五輪でも活躍してほしい」と話した。

幕別町出身では、マウン